

# V章 調査研究・学会発表実績

## 1 その他の調査研究事業

令和5年度

学会等の名称	題目・論旨（担当課名）	著者名 （発表者名）等
<p>第69回 大分県公衆衛生学会</p>	<p>題目：神経難病患者の摂食・嚥下に関わる支援方策の検討 ～ALS患者を中心とした支援から見えてきたこと～</p> <p>論旨：嚥下に関する困りを抱えたALS患者3名の支援を振り返り、神経難病患者の摂食嚥下に関する支援方策について検討した。結果、（1）他職種と連携した難病患者支援の可能性（2）適切な摂食嚥下アセスメントの標準化（3）視覚的な媒体を用いた支援（4）患者のQOL向上につながる摂食嚥下の支援について検討した。できる限り早期から神経難病患者に対する摂食嚥下の支援が重要であることが示唆された。</p> <p style="text-align: right;">（地域保健課）</p>	<p>○ 杉本 綾音 東 優花 平野 沙樹 小笠原 光 飯田 育子 池田 裕美 山下 剛</p>
	<p>題目：精神科措置入院者に対する退院後支援の評価</p> <p>論旨：退院後支援に関する計画（以下、支援計画とする）を作成した精神障がい者への支援を振り返り、地域でその人らしい生活を安心して送るための支援のポイントを考察。支援計画を作成した者で措置入院を繰り返した者はいなかった。支援のポイントは、（1）地域生活を阻害する要因について患者と共有（2）支援計画は、退院後の地域生活を続ける中で本人の病状・意向に沿った有効な計画へと進化（3）支援計画の共有により早期介入で重症化予防することが挙げられ、これらの支援が自立した生活を可能とし、それが本人の安心につながり、その人らしい地域生活を送ることを可能にすることが示唆された。</p> <p style="text-align: right;">（地域保健課）</p>	<p>○ 吉田 佳世 河野 さくら 飯田 育子 池田 裕美 山下 剛</p>
	<p>題目：給食施設指導業務のDX化</p> <p>論旨：毎年7月に提出される給食施設状況報告書は県内915施設から紙で提出されるため、①内容確認・整理や、公的統計に使用する情報のエクセルデータ入力に多大な労力を要している点、②報告書記載の情報を管内給食施設の課題分析に活用出来ていない点が課題として存在する。給食施設状況を速やかに把握し、適切な指導を行うために、給食施設指導業務のDX化に取り組み、業務効率化や施設指導業務の質の向上のみならず、指導のあり方の明確化を図ることができた。</p> <p style="text-align: right;">（地域保健課）</p>	<p>○ 世古 なぎ 工藤 早貴 亀井 真優 安藤 望晴 古澤 愛弓 下田 祐子 小笠原 光 池田 裕美 山下 剛</p>
	<p>題目：栄養成分表示の「見せる化」が勤労者の食選択に与える影響について</p> <p>論旨：昼食に含まれる栄養成分をランキング化した資料を作成し、メニュー表に貼付（見せる化）することが保健所職員の食選択に影響を与えるか検討した。熱量については見せる化によって良好な食選択を誘導できたものの、食塩相当量については変化が見られなかった。改善させたい栄養素によって、そのアプローチ方法を適切に選択することが重要であることが示唆された。</p> <p style="text-align: right;">（地域保健課）</p>	<p>○ 小笠原 光 世古 なぎ 池田 裕美 山下 剛</p>
	<p>題目：医療的ケアを要する在宅難病患者への災害時支援体制の現状と課題</p> <p>論旨：指定難病医療費受給者更新時アンケート及び1名の災害時個別支援計画作成への関わりから、災害時支援体制の現状と課題について検討。患者自身の大規模災害の経験の乏しさによるイメージ不足や避難場所の認知不足、地域での受け入れ体制の課題から（1）患者自身の防災意識向上にむけた取り組み（2）地域ぐるみの災害時支援体制の整備により、在宅難病患者への災害時支援体制を強化していくことの必要性が示唆された。</p> <p style="text-align: right;">（地域保健課）</p>	<p>○ 石丸 ゆい 元永 静香 武野 真澄 山下 剛</p>
	<p>題目：北部保健所管内の中学生における大麻についての意識調査報告</p> <p>論旨：時代の変化に沿った薬物乱用防止教室を行なうために、現在問題となっている大麻について管内中学生の意識調査を行なった。大麻の情報を経た媒体は中学生ではSNSよりTVの影響は大きく、学校の授業も上位となった。また、大麻に対して無関心・使ってはいけないという回答が大部分を占めた中で、友達から誘われたら断れない・わからないという回答が散見されたため、使ってはいけないと啓発するだけでなく、使ってしまいそうな場面に配慮した教室運営も必要である。</p> <p style="text-align: right;">（衛生課）</p>	<p>○ 道野 慎吾 鷲野 美希 権藤 貴裕 後藤 早穂 久保田 萌友 橋本 啓一 三上 賢一</p>
<p>令和5年度 食品衛生監視員・と畜 食鳥検査員・狂犬病予 防員研究発表会</p>	<p>題目：外国人による食肉処理業・食肉販売業の無許可営業への行政対応について</p> <p>論旨：猪肉やシカ肉などを無許可で解体処理し、インターネットを通じて販売などを行ったことにより略式命令を受けた外国人に対するその後の行政指導等の経過を報告したものの。</p> <p style="text-align: right;">（衛生課）</p>	<p>○ 権藤 貴裕</p>

(続き)

令和5年度

学会等の名称	題目・論旨 (担当課名)	著者名 (発表者名)等
令和5年度環境衛生 監視員等事例研究発表会	題目：産業廃棄物処分業者に対する戦略的指導について  論旨：産業廃棄物処分業者の不適正保管に対して戦略的な指導を行った結果、保管状態の改善が見られたもの。  (衛生課)	○ 芝原 知弘
令和5年度 宇佐・豊後高田地域 看護研究発表会	題目：北部保健所管内在住の小児慢性特定疾病医療費受給者に対する支援の検討  論旨：申請時に把握した療養状況や困りについて分析し、慢性疾病を抱える児の支援について検討した。支援のポイントとして(1)児とその保護者が交流できる場の紹介及び設定(2)ライフステージに応じた支援の重要性の2点が挙げられ、児と保護者の交流の機会の設定やタイムリーな情報提供の必要性が示唆された。  (地域保健課)	○ 津田 里咲 甲斐 ちひろ 西本 真由美 池田 裕美 山下 剛
	題目：北部保健所管内における外国出生結核患者の現状と治療完遂に向けた取り組み  論旨：北部保健所管内における外国出生結核患者の服薬支援体制を振り返り今後の方策を検討したもの。  (地域保健課)	○ 大前 雛乃 岩永 章太郎 飯田 育子 池田 裕美 山下 剛
第41回日本獣医師会 獣医学術学会年次大会	題目：豚の退色肝における判断基準の見える化 (第2報) ～ マクロからミクロの世界へ ～  論旨：豚の退色肝は、具体的な基準が不明瞭で、廃棄の判断に迷うことが多い疾病の一つであるが、スマートフォンの無料アプリを活用して肝臓の写真をRGB値(赤、緑、青)で数値化し、さらに病理検査と組み合わせることで廃棄判断基準の目安を示した。  (衛生課)	○ 行友 俊弥